

Smile Woman!
インタビュ⑦
 この人の仕事のカタチ
どこか書いてある「仕事」をしているあの人にズームアップ。



Reiko kimura

地元企業のニーズに合った 海外ビジネスを支援

日本貿易振興機構（ジェトロ）は経済産業省所管の独立行政法人。企業の円滑な貿易や投資を促進する機関として、海外の市場調査、国際見本市や商談会の開催などを行い、中小企業の海外ビジネスを支援する。岡山にも岡山貿易情報センター（岡山商工会議所内）を置き、日本全国・世界各地のネットワークを生かした岡山経済の活性化を図っている。今年5月に所長の木村玲子さんは着任した。

●海外経験を仕事に生かす

木村さんがジェトロに入ったきっかけは、「異文化のコミュニケーション」と話す。英語を使った仕事に就きたかった」と話す。父親の仕事の関係で5〜11歳をロンドンで過ごし、学生時代に旅行で海外を訪れた経験が彼女の興味をかき立てた。「旅行で見ると海外は綺麗事の世界に備わっている気がしたいと思った」。真剣な眼差しが印象深い。ロンドンでの実務研修、ベルギー・ブリュッセルの海外赴任をはじめ様々な職務内容を経験してきた。「なんでもやりませう。どこでも行きます」とフットワークの軽さと変化を恐れない気質は海外市場との懸け橋役にかかわり。

●魅力ある地場企業が多い

現在、岡山貿易情報センターでは、岡山県の中



日本貿易振興機構（ジェトロ）
岡山貿易情報センター
所長

木村 玲子さん

●岡山に新しい風を

「趣味は旅行と体を動かすこと」。特に最近ではゴルフに力を入れているという。「岡山はゴルフをする環境が最高と聞きます。たくさんコースを体験してみたいです」とプライベートでも岡山を楽しんでいる様子。「都会では見失われがちな、基本的な生活の豊かさがここにはあります。大切にしていきたいですね」。公私共に新鮮な目線でパワフルに、岡山に新しい風を吹かせて欲しい。

小企業の輸出サポートに力を入れている。成長著しいアジア市場の情報ニーズが高く、海外のバイヤーを岡山に招聘して商談会開催なども行う。「岡山県には魅力ある地場企業がたくさんあります。その現状とニーズを把握し、的確な支援を行ってきたい」。先を見つづ、現状を強化する難し、舵取りが求められる。岡山の今後の飛躍を左右する仕事だけに、その手腕が期待される。初の地方赴任、4カ月が過ぎた今「岡山はとても生活がしやすい土地です。これから色々な形で岡山を盛り上げていきたい」と語る。